



「名月をとってこれると泣く子かな」

小林一茶

「好きな季節は何？」と聞かれたときに、「秋」と答える人は多いのではないのでしょうか。秋は気候が穏やかで過ごしやすく、食べ物もおいしい季節です。夜は空を見上げてみませんか。まんまるなお月さんがあなたに語り掛けてくれることでしょう。

## 子は親の鏡

「子は親の鏡」、よく聞かれる言葉ですね。親である私にとって、この言葉を聞くと自分は子どもによい姿を見せているだろうかと反省させられます。

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる  
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる  
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる  
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる  
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる  
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
広い心で接すれば、キレる子にはならない  
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは自分が好きになる  
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを学ぶ  
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
守ってあげれば、子どもは強い子に育つ  
和気あいあいとした家庭で育てば、  
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

「子どもが育つ魔法の言葉」 ドロシー・ロー・ノルト

このセンターだよりを読んでおられるお父さん、お母さんの中には、「大丈夫、うちの子どもはこのように育てているから」と思われた方もいらっしゃるでしょう。残念ながら、私は反省しなければならぬことばかりでした。この詩には、子育てで大切なことやどんな親になればいいのかということを考えさせてくれる言葉が並んでいます。

親は、子どもにとって最初に出会う生き方の手本になる存在です。私たち親は、「あんなさい」「こうしなさい」「あんなことをしてはいけない」と言葉で子どもたちに指示をすることが多いものです。しかし、口で言うより、姿を見せることで、子どもに自分の言動を決めさせることが大切です。

子どもは、親の姿を見ています。子どものよい手本になる親になりたいものですね。